

ももとせ

第424号
29年度1月
中野区立桃園小学校

自分から考える力を伸ばす 校長 田中 憲治

新年あけまして おめでとうございます。
穏やかな年の初めを、皆様お揃いでお迎えることと存じます。本年も子供たちが生き生きと活動し、健やかに成長する年となるようにと、心から願っております。

昨年末には、保護者アンケートにご協力をいただきありがとうございました。集計結果やご意見を生かしながら、学校では今年度の取組を検証するとともに、次年度閉校の年をどのように計画するかを検討をしています。

さて、昨年「新学習指導要領」が発表され、説明会や研究発表会を通して、その趣旨の説明を聞く機会が多くありました。この改訂の方向性は、子供が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」が大切にされています。「どのように学ぶか」では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善して質の高い理解を図ろうとしています。この学習過程では、どの場面でも様々な手段を使って取り組む中で、「考える」「考えを深める」「考え方を活用する」ということが必要です。そのためにも日頃から自ら「考える」ことをさせることが大切になります。このことは、学校だけでなくご家庭でも子供自ら「何をどうしたいのか」「何かをしたらどうなるのか」を考えていく機会を増やしてほしいと思います。

また、「特別の教科道徳」は、次年度から全面実施となり教科書が使われます。教科書だけでなく、文部科学省や東京都からも資料が出されていて、それらも使って授業を行っていくこととなります。ここでもどのように考えるか、自分はどうすればよいのかなど友達と意見交換をしながら考えていくことが大切です。考えることは難しいから考えることが楽しいというようになってほしいものです。

12月9日(土)道徳授業地区公開講座へのご参加ありがとうございました。講師の堀内聡子さんをお招きしての誕生学のお話と赤ちゃん誕生の映像を見ていただきました。

＜子供の感想抜粋＞

「自分も友達も大事にしようと思った」「赤ちゃんは生まれる前から頭を使っていることにびっくりした」「赤ちゃんが生まれるまでの道のりが心に残った」「お父さんお母さんに感謝したい」「自分の誕生に興味をもったことがなかったがこれからは考えようと思った」「命の誕生には、多くの人の思いがあるんだな」。等

＜大人の感想抜粋＞

「子供たちに、母親が命をかけて生んだことをもっと知ってほしいと思いました。改めて育児を頑張ろうと思いました。」等
＜もっと聞きたいことがあれば＞

12月11日(月)4年生の桃園小・向台小の統合新校に向けて、4年生の交流事業では、理科教育を通じての交流を計画し、「サイエンス・ドラゴン」として実施しました。

オープニングでは、違う2つが合わさると、新しいエネルギーが生まれるという実験を4つしていただきました。単に2校が合わさっただけでなく、合わさって新しいことが生み出されるような統合であってほしいという願いが込められての内容でした。

交流実験は「ジャイロ効果」「浮沈子」の実験を話し合いながら楽しみました。

来年の4月には、向台小学校の位置に新校ができます。現在は、新校に向けて校舎東半分の工事が終わり、20学級規模での改装が行われています。31年4月30日には天皇の譲位、5月1日には元号が変わるという変化のある年になりそうです。統合時の新6年生、学校を引っ張る大事な役目を自覚していくようにという話がありました。

今月のめあて

- 【生活】自分から先にあいさつしよう
- 【保健】姿勢を正しくしよう
- 【給食】バランスのよい食事をしよう
- 【安全】安全に気をつけて歩こう

